

燃えあがる紅葉

感動的な秋のカナダ旅行

キコキコ、カッタ、キコキコ、カッタ……長い木の腕は前後に動き、みごとに布が織られてゆく。隣りでは、レースの帽子をかぶり、十八世紀当時そのままにロングドレスを着たおばさんが、大きな刺しゅうに取り組んでいる。古びたパン屋をのぞくと、職人が開拓時代そのままにパン粉をていねいに練りあげ、レンガ作りのオーブンでパンを焼いている。広場では二頭の馬が馬車を引き、脱穀機が稲の穂を巻き上げている。ここカナダ東部、オタワ近郊のアッパ・カナダ・ビレッジは旅人をタイムマシンに乗せ、十八世紀の開拓時代に連れ戻してくれる。

カナダ東部の紅葉は、九月中旬から十月中旬に最盛期をむかえる。野山は燃えんばかりの真紅に埋まり、日本の秋とはまた異なった鮮烈な紅葉を満喫することができる。カナダの秋は日本ほど長くなく、短い秋を惜しんで、すべての自然がいつせいに变化する。激しく、凝縮されたカナダの秋は、旅人の胸に強烈な感動を呼び起こさずにはいないだろう。

カナダ東部の燃えるような紅葉の中、カナダのルーツを探る旅に出発してみたいかが……。秋のカナダの見どころを紹介しよう。

ヘリテッジ・ハイウェイ（開拓者達の道）をたどって——四百年以上の歴史を有するカナダのルーツをたどるには、ナイアガラを基点としてオンタリオ湖を北上し、トロント経由でキングストンからセントローレンス川沿いにモントリオール、ケベックに至るヘリテッジ・ハイウェイが最上のコースだ。

ヘナイアガラ

エリー湖とオンタリオ湖をつなぐナイアガラ川。それに沿って走る全長五十八キロのナイアガラ・パークウェイには、壮大なナイアガラの瀑布を含め、数々の

史跡、公園、博物館、ピクニック場がある。

● オールド・フォート・エリー

ナイアガラ川の上流エリー湖の近くに位置し、一八二二年〜一八四四年の米国の戦争中に建てられた要塞。呼び物は兵器博物館と当時の制服そのままの衛兵。夏季のみではあるが、毎日衛兵の演習を見ることが出来る。五月一日〜十月三十一日の午前十時〜午後六時までオープン。

● グリーンハウス

ホース・シュー境から南へ一キロ弱のところであり、一年中さまざまな花が咲きみだれている。秋には菊とシクラメンの特別展示会もある。入場料は無料。

● ショー・フェスティバル

一七八一年に作られた歴史的な町、ナイアガラ・オン・ザ・レイクでは、バーナード・ショー

ザ・レイクで開かれる。

● ワイン祭り（セント・キャサリン）

ナイアガラ瀑布とトロントを結ぶクイーーン・エリザベス・ウェイを約二十キロ走ると、セント・キャサリンの町に入る。ここは、オンタリオの果樹園と呼ばれる地域の中心地。毎年九月後半の十日間、ぶどうの収穫を祝い、ナイアガラぶどう・ワイン祭りが盛大に開催される。大パレードに始まり、ぶどうの女王が選ばれ、舞踏会が華やかにくりひろげられる。中でも特に観光客の人気を呼ぶのが恒例のワイン試飲会だ。この期間中（今年九月二十一日〜三十日）には七万トンにのぼるワインの収穫風景やワイン製造の過程が見学できるバスツアーもある。団体の場合はガイド付きだが、予約が必要。

● ババリア風オクトーバーフェスト（キッチナー）

クイーーン・エリザベス・ハイウェイをハミルトンで降り、西へ九十キロのところにあるキッチナーは、ドイツ系カナダ人の中心地。大のビール党であるドイツ人の伝統を受けついだババリア風オクトーバーフェストが、毎年十月中旬の九日間にわたり開催される。市内二十カ所以上のピヤホールやピヤテントの陽気なドンチャン騒ぎは最高に楽しい。今年の日程は十月五日〜十三日。

● 農村で味わうのんびりカナダ

刈り取られたばかりの乾草のにおり。



セント・キャサリンのぶどう・ワイン祭り

バーナード・ショーや彼と同時代の作家の作品、著名な新しい作品などが上演される。公演は六月中旬から九月初旬まで行なわれる。このフェスティバルと併行して、コンサート・シリーズとカナデアン・マイム・シアターの公演がナイアガラ・オン・